

みんなのまち AI®

都市データ可視化・解析
都市シミュレーションのご提案

みんなのまち AI[®]

1

データ活用の重要性

行政におけるデータ活用の動き

今後、行政においては人口減少に伴う税収の減少が予想されます。限られた財源の中で必要な公共サービスを選択し、維持・運営していくには、市民が納得し得る政策の合理性や効果を定量的に示す必要があります。

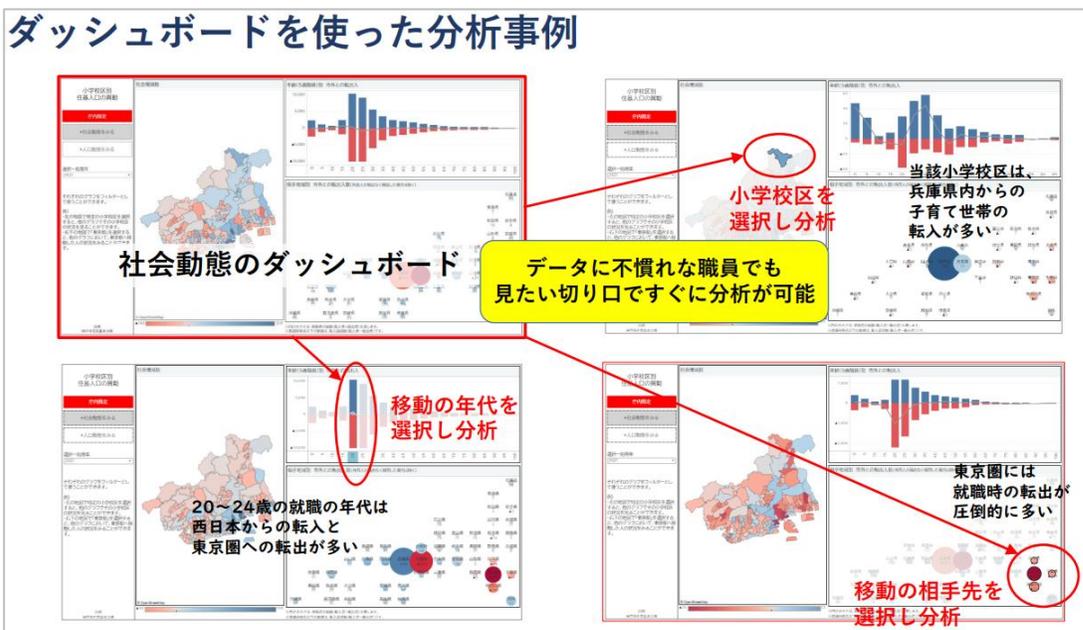
また、内閣府においてはEBPM※1（Evidence Based Policy Making）と呼ばれる、合理的根拠に基づく政策立案の概念を推進しており、地方自治体に広がりはじめています。

一方で、データを収集・加工・分析できるデータ活用人材は官民を問わず不足しており、データ活用を推進する上での課題となっています。

みんなのまちAIは、こうした課題の解決に向け、**行政におけるデータ活用を「だれでも、かんたんに、すぐはじめられる」ツール**です。

EBPM事例) データ可視化ツールを導入することで、データ入手や分析にかかっていた時間を短縮し、政策議論の時間が増加した実例（神戸市）

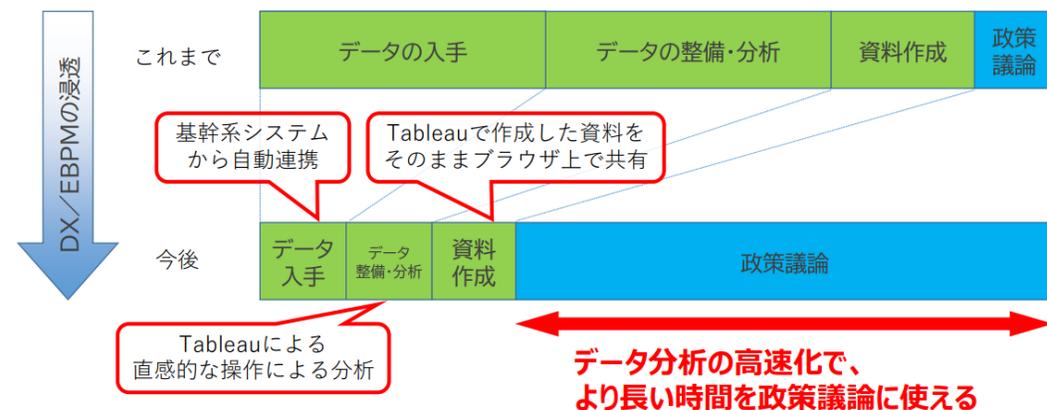
ダッシュボードを使った分析事例



引用元 : https://www.city.kobe.lg.jp/documents/56740/20230227_gaiyou.pdf

神戸データラウンジが実現するデータ分析の高速化

- Tableau Serverによる直感的な**分析と共有**
- 基幹系システムとの連携による**データの整備**



※1 EBPMとは、政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化したうえで合理的根拠（エビデンス）に基づくものとする事です。

EBPM・データ活用に関する自治体の声

実際に複数の自治体職員様ならびに首長などトップ層へEBPM・データ活用に関するお考えをヒアリングしたところ、データ活用をしていきたい思いはあるが、ノウハウや人材が不足しており、実現が難しい、という課題が見えてきました。



複数自治体の職員さまの声

- ・RESASは使い勝手が悪く、ほとんど利用していない
- ・データを活用していきたいと思うがツールなど導入効果を求められると厳しい
- ・**庁内には役立ちそうなデータが沢山眠っている**と思うがまったく活用できていない

- ・**政策論争をデータに基づいてできる行政**にならなければいけない
- ・EBPMが政策の後付けになっている。エピソード起点ではなく、分析結果を起点にした成長戦略を描く必要がある



某県副知事

EBPMの推進・政策立案に活用できる使い勝手のいいデータプラットフォームがあればいいのに…!!



複数自治体の職員さまの声

- ・総合計画や施策立案はその多くをコンサル会社に委託している
- ・データ分析のノウハウをもっていないのでツール提供だけでなく、**伴走しながら支援して欲しい**

- ・まちづくりにおける施策を進める上で、**データを活用した施策立案、分析が欠かせない**と考える
- ・EBPMの重要性は認識している



某市長

みんなのまち AI[®]

2

都市分析ツール「みんなのまちAI」のご紹介

みんなのまちAI 概要

みんなのまちAIは、人流をはじめ様々な都市の持つデータを可視化するソフトウェアです

最大の特徴は都市シミュレーション機能にあり、導入することで商業施設等を建設した際の人流変化を予測することが出来ます



自治体のご担当者さま

データを利活用した
都市計画の策定を
実践したいがどの様な
データが可視化できるのか

新たな公共施設を
建設した場合に
人の流れはどの程度
変わるだろう



民間企業(建設コンサルタントなど)
のご担当者さま

都市データを
活用した販売計画を
策定できないか

新規出店を検討する様に
データに裏打ちされた
根拠があるといいな



都市データの可視化



- 人口（年齢・性別）、人流
- 推定行動、事故、犯罪
- 推定収入/支出
- バス/鉄道/高速道路 路線

etc…

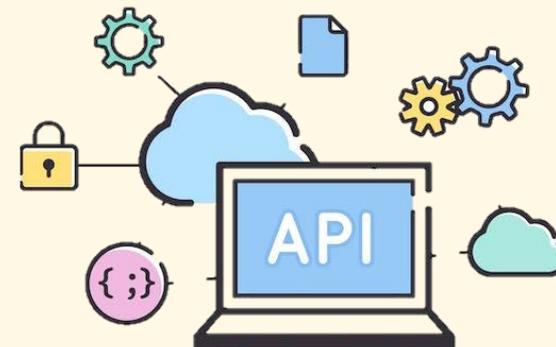
都市シミュレーション



- 特定の施設を任意の位置に建設した場合における人流変化をシミュレーション可能
- 商業施設、図書館、スタジアム

etc…

API連携

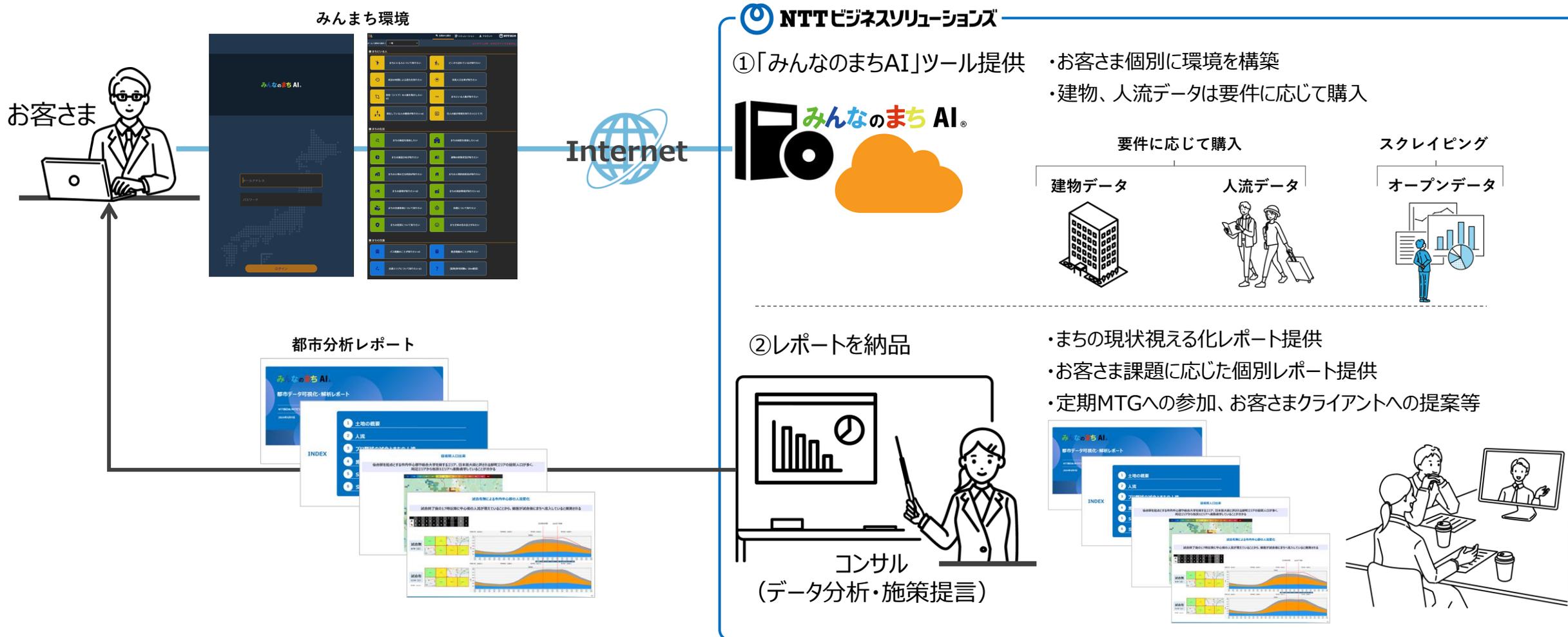


- お客様の保有データと連携

※諸条件あり。別途費用が発生する場合があります

みんなのまちAI 提供イメージ

- 「みんなのまちAI」は分析対象のエリア、期間に応じて必要なデータをご購入いただき、お客さま毎にサーバーを契約して環境構築します。
- データ分析、施策提言のコンサルティング支援を弊社にて実施し、都市分析レポートを納品します。
- コンサル内容はお客さま要件に応じて柔軟に対応させていただきますので、お気軽にご相談ください。



納品物イメージ

環境構築



一般的なSaaSと同様にID/PWを発行して利用

みんなのまち AI.

お客さま専用ID/PWを発行

メールアドレス

パスワード

ログイン

コンサル
(データ分析・施策提言)



みんなのまち AI.

都市データ可視化・解析レポート

NTT西日本/NTT東日本

2024年X月Y日

INDEX

- 1 土地の概要
- 2 人流
- 3 プロ野球の試合とまちの上流
- 4 旅
- 5 S
- 6 交

昼夜間人口比率

仙台駅を起点とする市内中心部や総合大学を擁するエリア、日本最大級と評される卸町エリアの昼間人口が多く、周辺エリアから当該3エリアへ通勤通学していることが分かる

試合有無による市内中心部の人流変化

試合終了後の17時以降に中心街の人流が増えていることから、観客が試合後にまちへ流入していると推測される

時刻	観客数	通勤者数	通学生数	その他
17:00	0	0	0	0
17:30	0	0	0	0
18:00	0	0	0	0
18:30	0	0	0	0
19:00	0	0	0	0
19:30	0	0	0	0
20:00	0	0	0	0
20:30	0	0	0	0
21:00	0	0	0	0
21:30	0	0	0	0
22:00	0	0	0	0
22:30	0	0	0	0
23:00	0	0	0	0
23:30	0	0	0	0
00:00	0	0	0	0

試合無 4/8 (土)

試合有 5/20 (土)

NTTビジネスソリューションズによる「まちづくり支援業務」について

データ利活用の開始時においては『伴走型の支援体制』を求める声が多かったことから、弊社にてデータ分析・施策提言コンサルも実施させていただきます。

NTTビジネスソリューションズが、まちづくりに関する現状分析、課題把握、将来予測のご支援・コンサルティングを実施します。

■まちづくり支援業務の特徴

- ・「みんなのまちAI」によりデータをお客さまにてご確認いただけます⇒**双方向の議論を活性化**させ、より良いまちづくりが可能となります。
- ・「みんなのまちAI」を通してデータ活用を実践していただけます⇒**お客さまの組織にノウハウが蓄積**され、データ利活用の推進に寄与します。
- ・「みんなのまちAI」にお客さまがお持ちのデータを取り込みます⇒既存のデータだけでは難しい**深い分析が可能**となります。

みんなのまちAI[®]

政策の必要性に関する
エビデンス・データ

政策の有効性に関する
エビデンス・データ

人・生活・交通・環境
4分野26項目のデータを組み
合わせることで
『まちの現状』を詳細に可視
化することで課題を把握

シミュレーション機能を活用した
公共施設の建設や
統廃合時における人流予測

リアルタイムに更新されるデータにより、
『変化するまちの今』をモニタリング
できるため施策の軌道修正が可能



ファクト
分析
仮説

インプット
(投下リソース)

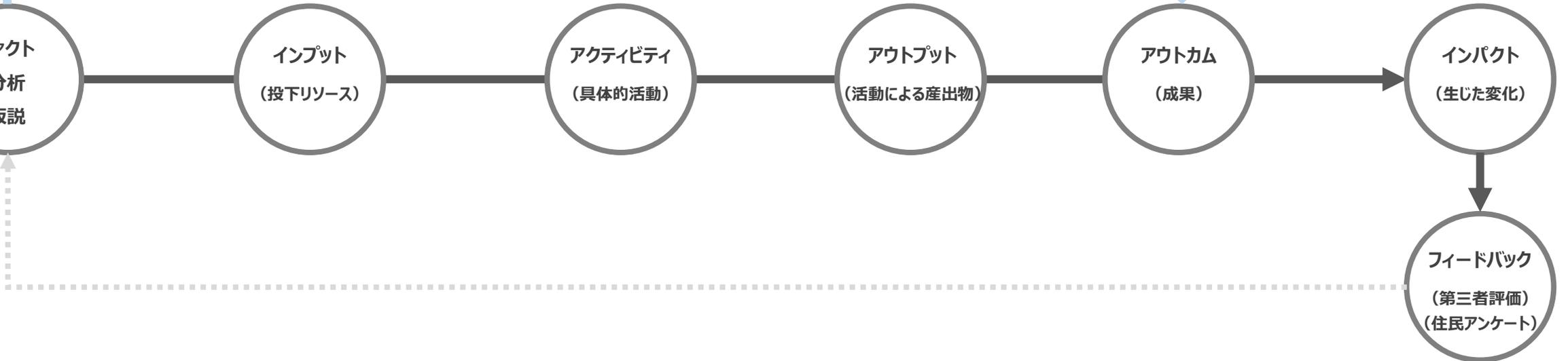
アクティビティ
(具体的活動)

アウトプット
(活動による産出物)

アウトカム
(成果)

インパクト
(生じた変化)

フィードバック
(第三者評価)
(住民アンケート)



みんなのまち AI[®]

3

活用例

活用例①

観光促進への活用

都市データを活用し、現状のまちを多角的に分析

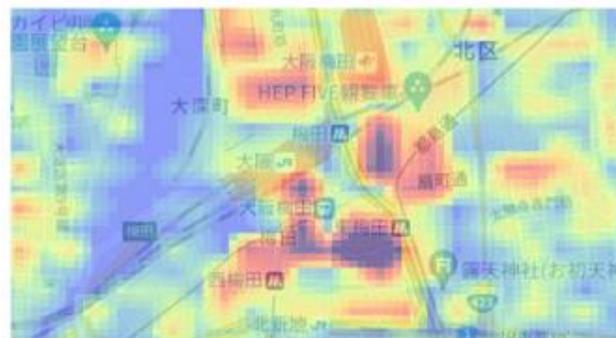


人流の変化をヒートマップ形式で可視化

居住地別の来訪者を可視化

来訪時間による
人数および属性の変化を可視化

訪問者の行動を可視化

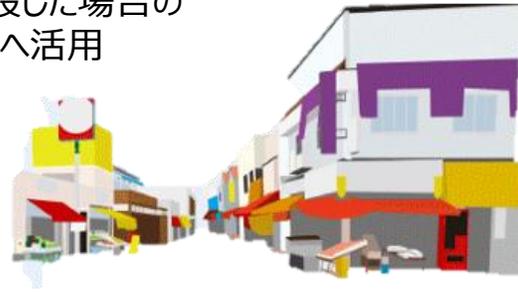


自治体のご担当者さまの場合、観光地への来訪者数を増やす施策の検討にご活用頂けます
民間企業のご担当者さまの場合、人の多い場所や属性・行動が分かるので、新たな出店場所の検討にご活用頂けます

活用例②

まちづくりの活用

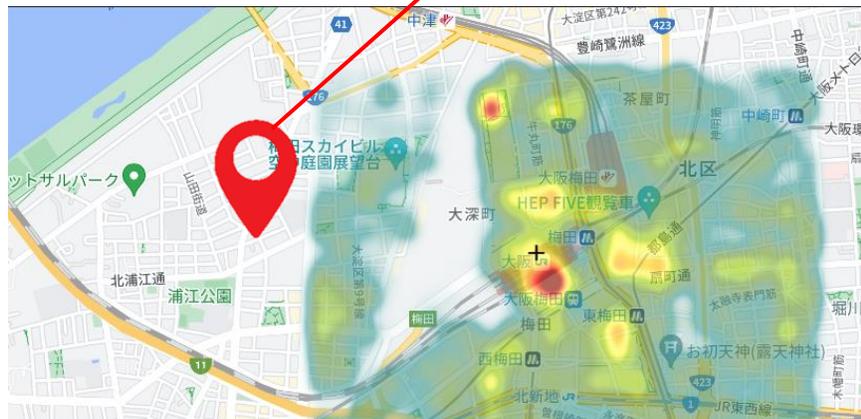
任意の建物や道路を、特定の場所へ建設した場合の人流の変化をシミュレーションし、まちづくりへ活用



人流の変化をヒートマップ形式で可視化

Before

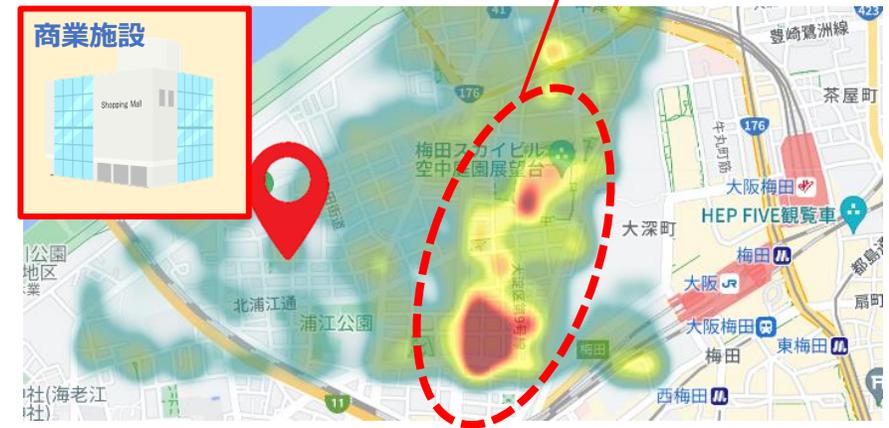
建設予定地を選択



After

人流が変化

商業施設

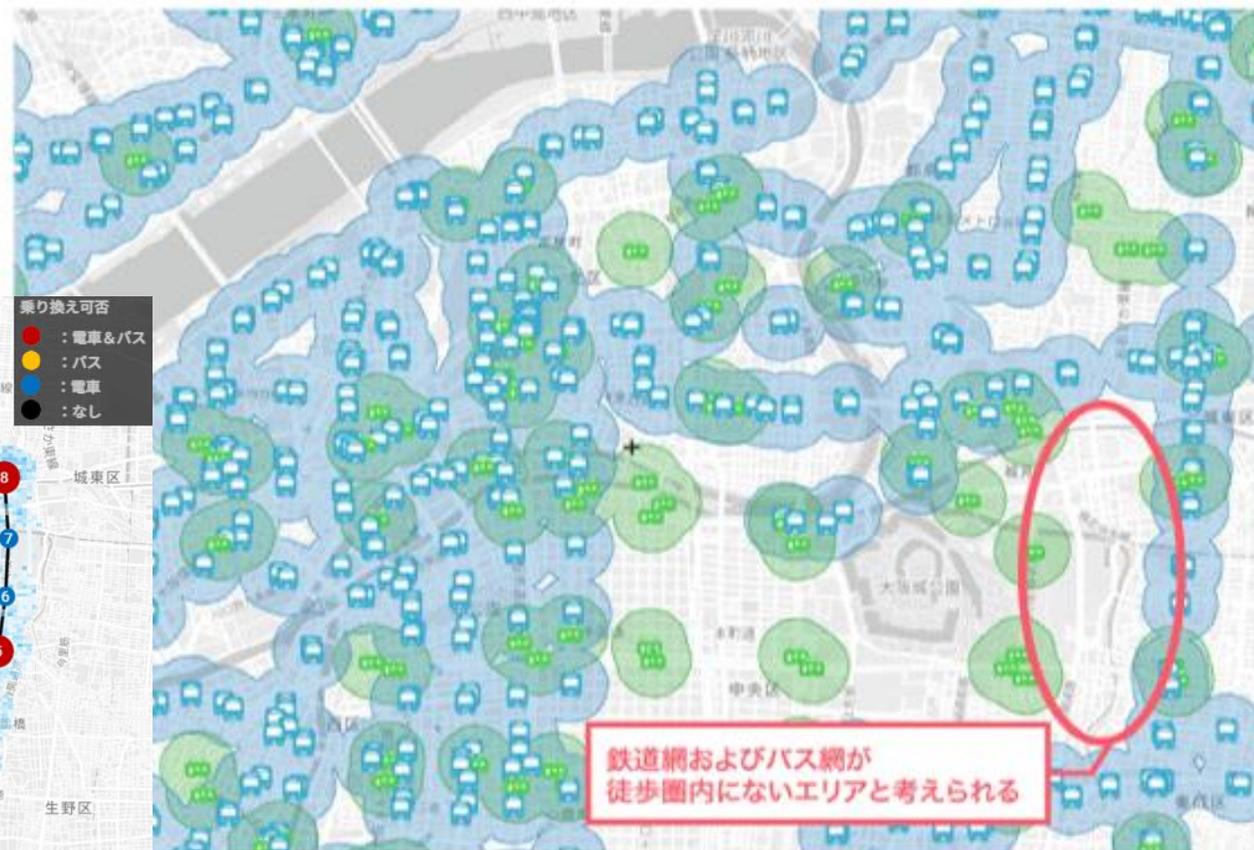
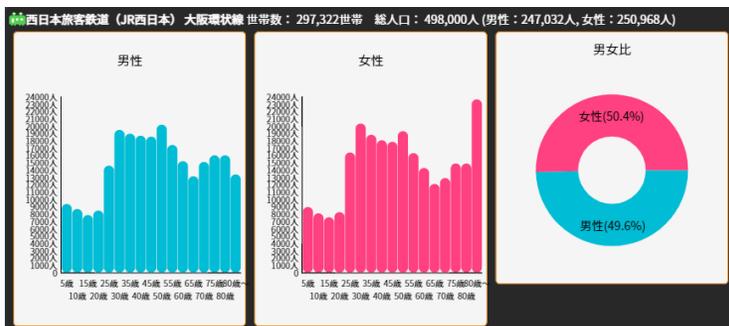


公共施設の統廃合や商業施設の誘致などの計画策定に、
都市シミュレーション機能をご活用頂けます

活用例③

交通への活用

鉄道網およびバス網の有無を地図上に可視化し、公共交通空白地域の把握を行う



鉄道およびバス停から徒歩5分圏内のエリアを地図上で可視化 (年代、性別毎に徒歩圏内エリアを変更可能)

公共交通空白地域が特定できるため、自動運転バスや、レンタル自転車の設置など、新たな交通手段の検討にご活用頂けます

お問い合わせ先

NTTビジネスソリューションズ株式会社
バリューデザイン部 ソーシャルイノベーション部門
社会基盤ビジネス担当

Mail : minmachi-ai-ml@west.ntt.co.jp